

平成23年度当初予算

子ども手当を盛りこんだ一般会計は70億8600万円
前年度比 6.2%増

平成23年度の一般会計および特別会計予算が3月定例議会に提案され、可決されました。一般会計の予算額は70億8600万円。23年度から老人保健特別会計が廃止され、5つとなった特別会計などの予算額は51億1638万円で、予算総額は122億238万円となり、22年度に比べ1.4%増となりました。

一般会計

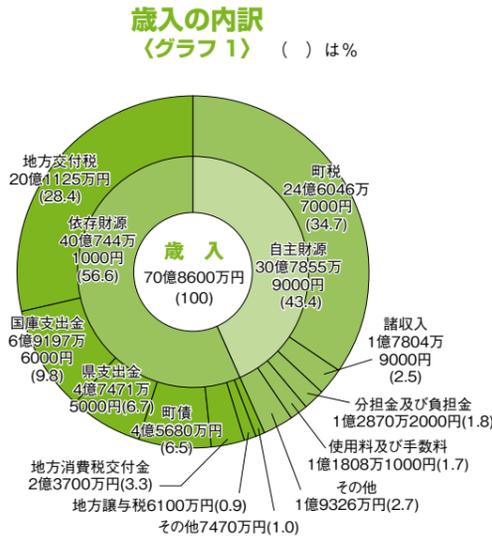
会計名	23年度予算額	対22年度比較(%)
一般会計	70億8,600万円	6.2
特別会計等		
国民健康保険	28億8,152万円	△10.4
老人保健	0万円	△100.0
後期高齢者医療	2億3,250万円	9.8
公共下水道事業	10億5,665万円	10.6
農業集落排水事業	9,513万円	11.0
水道事業	8億5,058万円	△4.2
特別会計等小計	51億1,638万円	△4.6
合計	122億238万円	1.4

23年度の一般会計予算は、前年度に比べ4億1300万円(6.2%)の増額となりました。その主な理由は、子ども手当(3億6700万円増)や公共下水道事業などの特別会計への繰出金が増額になっているためです。

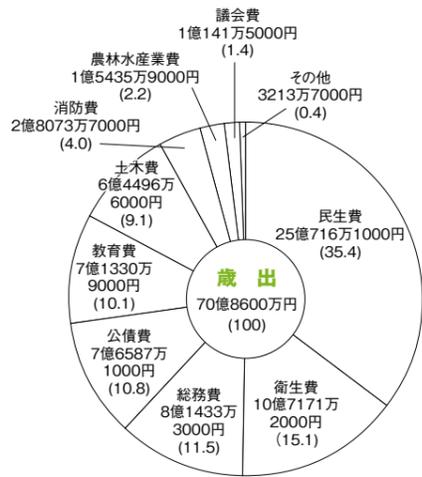
歳入

地方交付税は7.2%増、基金取崩しはなし

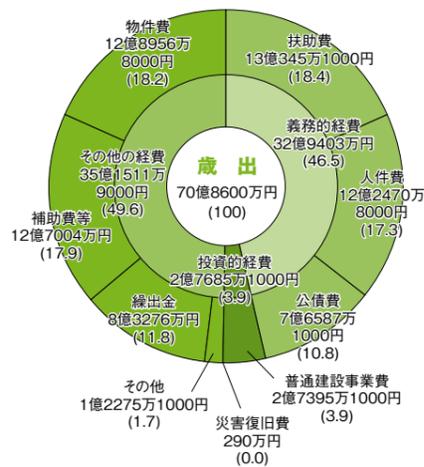
歳入(グラフ1参照)の構成は、町税が34.7%、続いて地方交付税



歳出(目的別)の内訳(グラフ2)



歳出(性質別)の内訳(グラフ3)



歳出予算の主な内容

少人数指導・スクールソーシャルワーカー	2,172万円
要保護及び準要保護児童生徒扶助費	2,403万円
小・中学校パソコン借上料	1,814万円
小学校諸工事	801万円
給食調理等業務民間委託料	4,032万円
幼稚園耐震設計業務委託料	640万円
南幼稚園屋根防水改修工事	424万円
図書・視聴覚資料購入費	600万円
久我記念館・歴史民俗資料館管理運営	911万円
運動公園管理運営	1,912万円
校区コミュニティ推進補助金	600万円
須恵町外二ヶ町清掃施設組合負担金	
・ごみ	4億6,127万円
・し尿	7,341万円
塵芥処理費	2億1,874万円
交通安全施設費	940万円
町道維持費	4,815万円
道路新設改良費	3,501万円
内原～大谷線道路受託事業費	1億300万円
公共下水道事業特別会計繰出金	3億275万円
農業集落排水事業特別会計繰出金	6,671万円
柏屋南部消防組合負担金	2億3,236万円
小型動力ポンプ積載車購入	880万円
子ども手当	6億1,932万円
認定こども園費	6,285万円
第二幼稚園建設用地測量設計業務委託	810万円
障害者福祉・支援費	2億9,662万円
福岡県介護保険広域連合負担金	2億3,410万円
国民健康保険特別会計繰出金	1億6,305万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	6,615万円
後期高齢者医療療養給付費負担金	2億2,353万円
住民健康対策・保健事業費	2億1,183万円
子宝応援手当	209万円
農道、水路、ため池補修整備費	700万円
堆肥化センター管理委託料	1,842万円
商業振興費	813万円
プレミアム商品券発行事務補助金	225万円
コミュニティバス導入検討費	2,173万円
県知事、県議一般選挙費	609万円
町議会議員選挙費	856万円
緊急雇用創出等事業費	2,835万円
公債費元金利子償還金	7億6,537万円

繰越明許費

次の平成22年度予算を23年度へ繰り越すことが23年3月定例議会に提案され、可決されました。

事業名	予算額
公共施設地上デジタル放送対応設備整備	495万円
防犯灯設置工事	1,000万円
福岡地区水道企業団出資金	77万円
小中学校教室扇風機設置	740万円
第三小図書室空調設備整備	164万円
図書館施設整備	438万円
合計	2,914万円

※繰越明許費とは・・・経費の性質など何らかの理由により年度内に支出を終わらない見込があるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して支出できるようにする予算

歳出

子ども手当を含む民生費、扶助費が大幅増

目的別(グラフ2参照)に見ると、子ども手当、後期高齢者医療および介護保険の負担金、国民健康保険特別会計への繰出金を支出している民生費が、35.4%と最も多くなっています。

続いて、クリーンパークわかすぎの管理運営のための須恵町外二ヶ町清掃施設組合負担金や子宮頸がんなどの予防接種委託料を支出している衛生費が、15.1%を占めています。以下、総務費、公債費、教育費の順になっています。

次に性質別(グラフ3参照)を見ると、人件費、扶助費、公債費のいわゆる義務的経費が46.5%で、前年度に比べ2.5%上昇しています。これは子ども手当を含む扶助費が45.7%増と大幅に伸びているためです。

町道補修工事や小中学校の諸工事を実施する投資的経費は3.9%と前年度並です。その他の経費は、臨時雇賃金、ごみ収集委託、小中学校のパソコン借上や給食備品購入などの物件費が18.2%、後期高齢者医療給付、須恵町外二ヶ町清掃施設組合負担金、柏屋南部消防組合負担金、諸補助金などの補助費等が17.9%、福岡県介護保険広域連合や公共下水道事業などへの繰出金が11.8%を占めています。

23年度は、積立金を取り崩すことなく予算を組みましたが、今後も須恵町の安全・安心な生活環境を守るため、行財政改革に努め、積極的な財政運営を目指します。町民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。